

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和3年5月20日(木) 午後2時30分～午後3時50分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 井上 靖史君
 3番 沼田 芳美君 4番 村上 恵宏君
- 4 参 与 教育部長 岸 弘美 次長兼教育総務課長 相澤 和夫
 教育指導課長 多田 真由美 幼児教育課長 稲葉 育子
 生涯学習課長 杉山 宏生
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 松岡 翔太
- 6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会5月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：それでは議事に入る。始めに、教育長報告を行う。5月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

- 4月22日 伊東医師会、歯科医師会、警察署挨拶
- 23日 伊東市PTA連絡協議会総会、県議会議員来庁、政策会議
- 26日 区長委嘱状交付式
- 27日 就学援助認定委員会
- 28日 静岡県都市教育長協議会総会（磐田市）
- 5月 2日 伊東市少年少女合唱団定期発表会
- 6日 中北薬品株式会社との包括連携協定締結式
市音楽連盟より施設利用要望
- 10日 教育施設訪問（通級指導教室等）

11日 校長会

12日 東部社会教育振興協議会理事会（清水町）

14日 幼稚園園長会、伊東市教科等研究員研究会

19日 市育英奨学選考委員会

20日 教育委員会定例会、いでゆ大学開講式、西小学校運動会

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

（報告なし）

教育長：それでは、議題に入る。始めに、議決事項、教議第2号「伊東市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例（案）について」を議題とする。

（相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：それでは、この件について確認する。教議第2号「伊東市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例（案）について」は、原案通り承認してよろしいか。

（異議なし）

教育長：委員の皆様から承認が得られたので、教議第2号については原案どおり決定した。以上で議決事項を終了する。次に報告事項に入る。教報第2号「令和3年度実施伊東市教育機関職員採用試験について」を議題とする。

（相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：本年度せっかく1名採用が決まって喜んでいたが、辞退となり、残念だ

った。保育園でも1名辞退者がいたと聞いており、今後も起こるのではないかな。そういったことも踏まえないといけない。テレビで、今は就職後のフォローが大切と言っていた。いろいろな職場を見ても就職してからのフォローが大事だと思う。そういったことも心掛けながら、今年は辞退者がないように実施してほしいと思う。

教育長：意見として承る。

委員：将来的な認定こども園の方向性を考えたときに、幼稚園と保育園の両方の免許が必要になるが、採用時の基準として両方を持っていたほうが有利になるという条件を盛り込むべきではないか。検討はこれまでであったのか。

相澤次長兼教育総務課長：過去3年間、幼稚園の教員採用試験、市長部局の保育士採用試験、どちらも教員と保育士の両方の資格を有するものが受験資格としている。将来の認定こども園を想定しながら、両方ないと受験資格がないという採用試験をしている。

教育長：令和2年度の募集でどれくらい応募が来るか期待していたが2人しか来なかった。募集の段階で2人ということもあり、今年は教育総務課で工夫してもらい、県内の大学短大に伊東市の募集要項を直接届けることも考えている。入口の段階で人を集めるということをやっていないといけないと思っている。なんとか伊東市の幼稚園に来て働きたいという人を増やさないといけない。原因としてこれといったものはないと思うが、ひと工夫していないといけない。話は変わるが、小中学校への応募人数も減ってきている。今年の小学校教員採用は2.6倍。調べてみると平成20年頃は全国的には小学校の倍率が20倍ほどあった。どんどん減ってきている状況で、教育に対する落ち込みがある。幼稚園や保育園もそういった流れの中に入っていると思う。実態としてはそういったところにある。

委員：職場に魅力がないので受けなくなってしまうのではないかな。仕事はともいい仕事だと思うので、大学に募集要項を置くなど工夫していかないとけない。

教育長：中学高校も教科によっては倍率の高いところもあるが、総じて減少傾向にある。ひとつに教育現場のブラック化がある。働き方改革もやっているがなかなか見えてこない。夜も遅くまでやったり、部活動もかなり負担感がある。本当は子どもと触れ合うことが楽しいことだと思うが、働き方がもっと楽にやれば良いが、なっていない。今回、コロナ禍の対応で運動会を半日にしたが、先生がゆとりをもって行事ができている感じがする。業種によっては洗練されてテレワークができている業界もあるが、教育現場も変わっていかないとけない。そうしないとどんどん人が離れて行ってしまう。優秀な人材が捕まらない時代が目の前に来ている。

委員：地元から多くの人が希望してくることが望ましいが、福祉分野では支援をするので、地元でない人も伊東に来てという施策がある。保育園や幼稚園の先生に対しての支援はあるのか。

稲葉幼児教育課長：幼稚園の先生は該当とならないが、保育士資格のある方が、保健医療福祉の業種に限って民間に就職する方には、移住する際の引っ越し費用や奨学金への活用は始まっている。

委員：民間の方のみが対象か。

稲葉幼児教育課長：公立園の採用にあたっては対象となっていない。民間の事業所に採用された方に対しては活用できるようになっている。

委員：公立関係も募集が増えるような支援をしたらどうか。

教育長：他の地区から伊東へ来て、教育現場で働いていただく方には住宅の補助等、戦略的にやっていかないと人が集まらない。大きい問題だと思う。幼稚

園教員採用に表れている。どのようにやっていけばいいか、教育委員会だけではなく、いろいろなところと一体化しなければならない。教育委員会でまとめて要望書を出すのも一つの方法かもしれない。いろいろなやり方があると思う。このまま手をこまねいて、なにもしなければ、より減ってしまう。それは間違いない。

委員：以前、委員が話していたと思うが、実習をやって学校や幼稚園や保育園の実態を見て、それで嫌とってしまうという話を聞いたことがある。そういったこともあると思う。一度に実習生がたくさん来ると、園や学校も大変になってしまうので、お断りしてしまうこともあったかもしれない。今や無理をしても実習は受け入れて、手助けをしてもらう機会を作っていく必要があるのではないか。そこで色々な話ができるので、互いの情報交換ができると思う。そういったことも大事になってくると思う。

教育長：その他、何かあるか。

(意見・質問なし)

教育長：以上で報告事項を終了する。

教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

相澤次長兼教育総務課長：教育総務課から2点報告を行う。まず、東西旭小学校統合地域協議会について報告する。第一回を5月27日に開催予定となっている。各3校から校長教頭教務主任の9名、3つのPTAから9名、学区の6行政区から6名、有識者1名、合計25名を委員として選出してもらった。統合地域協議会において、校名校歌校章をどうするか、通学支援方法をどうするか、ということが大きな課題と認識している。

次に、旧川奈小学校の管理について報告する。廃校後の利活用について、1年間は教育財産として管理する。来年度以降どうするかは検討中である。年間

を通しての校舎の活用は現在協議中である。6月1日から約1か月は伊東食品衛生協会の会員の健康診断で利用する。また、同協会でも秋にも検診があると聞いている。現時点では利用を許可する方向でいる。

多田教育指導課長：教育指導課から生徒指導について報告する。問題行動について、小学校では、生徒間暴力が過去数年と比べてかなり多く報告され、低年齢化が懸念されている。ひとりひとりの言葉に耳を傾け、寄り添った指導が必要と考える。本市の特別支援アドバイザーからは、「子どもたちと世間話をしてほしい。世間話から子どもの本音が聞ける。」とのアドバイスを受けた。いじめについては、冷やかしからいから発生する。認知件数は小学校で51件、中学校で11件とあるが、昨年度から解消していないものであり、4月になって急に増えたものではない。不登校については、小学校21件、中学校25件で、小学校からの発生が多くある。いずれにしても市内の状況は中学校が落ち着いている。小学校では家庭と連携して、解決していかないといけない案件がある。小学校に重点を置いて指導している。

稲葉幼児教育課長：保育園のゴールデンウィーク期間中の休日保育の利用人数について報告する。令和3年度の実施保育所は、公営4園、民営5園、小規模保育事業所3園、計12園。幼保連携型認定こども園に移行した川奈愛育クラブについては、今年度から休日保育を実施していない。新たに小規模保育所えんが加わり、実施園は前年度と同数。休日保育対象日は4月29日、5月2日から5月5日までの計5日間。最も利用人数が多かったのは4月29日の富戸保育園で、23人の利用があった。利用者は延べ全体で514人となった。また、1日あたりの平均利用者数は8.6人。職員の勤務人数は延べ228人。1日あたりの勤務人数は3.8人。1日あたりの勤務人数で最も多かったのは、5月4日と5月5日の湯川保育園で、9人が従事している。

杉山生涯学習課長：記載資料について説明する。

（**杉山生涯学習課長**から資料に沿って説明）

また、記載していないが、県事業の市町対抗駅伝については、実施する方向と県から伺っている。来月から選手の募集を開始する。

教育長：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

委員：成人式の開催時期について、今後検討などはあるのか。また、来年から民法改正により18歳が成人にも加わるが、その観点も含めて検討はあるのか。

杉山生涯学習課長：去年は8月に開催を移した自治体もあったと思うが、社会教育委員や新成人にも意見を聞きながら、今後を考えていきたい。また、振袖等の業界側の対応も見ながら考えていきたい。

委員：校長会からの意見に、タブレットが配布されたが、ケーブル関係等の接続付属品が足りていないとの話があった。

事務局：電子黒板とタブレットを繋ぐケーブルやタッチペンが欲しいといった要望があった。当初予算の配当がないため、予算を見ながら徐々に整備できるように進めていきたい。

教育長：機器については、教育委員会からの押し付けではなく、学校からの意見を聞きながら整備した背景があることを知ってほしい。

委員：運動会の練習でよさこいを教えているときに、子どもたちがマスクを着用していると話を聞いたが、体育でのマスク着用については、どうなっているのか。

多田教育指導課長：現在は熱中症対策も必要であり、間隔を離せばマスク着用の必要はないと指示をしている。行き届いていないようなので、改めて周知したい。

委員：強風時の砂ぼこり対策として、校庭設置のスプリンクラーは各学校に整

備、利用されているのか。

多田教育指導課長：風が強いと水が近隣家屋に飛んでしまうこともあるので、使用を控えることもある。

相澤次長兼教育総務課長：全校に設置されているかは把握していないが、各校から修繕要求があるので使っているものと考えている。

教育長：第一回の統合地域協議会が開催されるが、様々な意見が出ると思う。良い形で統合出来るよう教育委員会一体で取り組むので、教育委員の皆さんにも、様々な意見を教育委員会に伝えていただきたい。

委員：時代にそぐわない校則のアップデートについて、必要だと思うが検討はあるのか。

教育長：難しい問題だと思うが、あまりにも理不尽な校則についてはしっかり見直す必要があると思う。

教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

教育長：今後の日程について確認する。

事務局：6月の定例会については、6月29日（火）午後2時30分を予定している。7月の定例会については、7月27日（火）を予定とする。

教育長：以上で伊東市教育委員会5月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高 橋 雄 幸

委 員 井 上 靖 史

書 記 松 岡 翔 太